

【質問に対する回答】令和6年度生涯学習関係事業計画書(令和6年1月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標	施策	具体的施策	事業名	内容	関係機関	令和5年度の成果(令和6年1月31日現在)	令和6年度実施計画	質問事項	回答
1 学ぶ～様々な学びの提供～	1 ライフステージに応じた学びの充実								
乳幼児期における学びの充実	7	遊びの広場、ふれあい遊び、園庭開放 (久支セ:17年目) (栗支セ:19年目) (鷲支セ:13年目)	各地域子育て支援センター	子どもたちが安全に楽しく遊びながら、健全に成長できる場を提供します。		【久支セ】令和5年度4月から1月の間に205日開所し、遊びの広場・ふれあい遊びは、延べ3,680人が参加しました。園庭開放は4月から1月末までに15回実施し、延べ47人が利用しました。 【栗支セ】令和5年度4月から1月の間に204日開所し、遊びの広場・ふれあい遊びは、延べ5,530人が参加しました。園庭開放は4月5月10月に6回実施し、延べ60人が利用しました。 【鷲支セ】令和5年度4月から1月の間に205日開所し、遊びの広場・ふれあい遊びは、延べ8,285人が参加しました。園庭開放は毎日実施し(雨天・熱中症警戒アラート発表時を除く)、延べ2,452人が利用しました。	子どもたちが、安全に楽しく遊びながら健全に成長できる場を提供します。 ・市内市外の小学校就学前までの親子を対象 【久支セ】令和6年度は、246日開所予定しています。 園庭開放は23回予定しています。 【栗支セ】令和6年度は、246日開所予定しています。 園庭開放は4回予定しています。 【鷲支セ】令和6年度は、246日開所予定しています。 園庭開放は開所日、毎日実施(イベント、雨天・荒天・猛暑を除く)	何故鷲支セは多くの方が参加され又開放出来るのでしょうか。久喜市は都心に向け交通の便が良いところです。流山市の「子育て支援プロジェクト」を参考に出来ることはありませんでしょうか。	鷲宮地域子育て支援センターについては、園庭が併設されているため、毎日園庭開放を実施することが可能となっています。一方、久喜地区子育て支援センター及び栗橋地区子育て支援センターに関しては、施設専用の園庭を併設しておらず、近隣の施設を利用した開設事業となっているため、イベント的な開催となっています。
	18	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ) (20年目)	生涯学習課	学校・家庭・地域が連携し、異学年や地域住民との交流活動を図り、地域の特性に応じた様々な講座を実施します。		令和5年度は、次のとおり実施し、多くの子どもたちに居場所を提供することができています。 ・参加児童数:2,930人 ・開設講座数:393講座 ・実施委員人数:394人 ・児童参加率:43.7%	学校・家庭・地域が連携し、異学年や地域住民との交流を図り、地域の特性に応じた様々な講座を実施します。 ・市内全小学生対象 ・定員:制限なし 年度当初に、放課後子ども教室運営委員会を実施し、詳細について協議します。	【質問①】21の各会場開催年数も実施内容もそれぞれ特徴があると思いますが、最も登録人数が多い「桜田」の長所は何でしょうか。 【質問②】R6年度からの「第3次久喜市障がい者計画」では、生涯学習の振興として、「まなびすと久喜」を利用したインクルーシブ教育の推進のため、特別支援学校と放課後子ども教室との共同発表を促進し、インクルーシブ教育の推進およびサポーターなどの育成を図るとしています。生涯学習課においては、その理念や主旨を盛り込んだ内容も当然検討いただいていると思いますので、その点を追記または、ご説明をいただけますか。	【質問①】PTAから「実施委員」を12名確保できている。PTAの協力・理解を得られているところが「桜田」の長所と言えます。 【質問②】特別支援学校のまなびすと久喜への参加を促し、放課後子ども教室との交流を図りインクルーシブ教育の推進に努めます。また、現在、市内21校の放課後子ども教室のうち、15校で「ポッチャ」を行っています。「ポッチャ」を活用し特別支援学校と放課後子ども教室の交流が企画できないか、放課後子ども教室実施委員の方々に回り、理念(全ての子どもたちが一緒に学ぶことを目指す教育)を共有する一助とします。
青少年期(小学生～高校生)における学びの充実	19	子ども大学くき (13年目)	生涯学習課	高等教育機関と連携を図り、子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供します。		令和5年度は、定員を60名とし、次のとおり実施しました。 ・1日目 日程:8月27日(日) 会場:平成国際大学 実施内容:「入学式」「ダンスワークショップ～からだで遊ぼう～」 ・2日目 日程:9月10日(日) 会場:平成国際大学 実施内容:「ウクライナってどんな国?」「われらHIU(エイチ アイ ユー)探検隊!」 ・3日目 日程:9月24日(日) 会場:鷲宮総合支所5階 生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「避難所生活を体験しよう!!」 ・4日目(予定) 日程:10月1日(日) 会場:鷲宮総合支所5階 生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「おはしチャレンジ」「修了式」	高等教育機関、久喜青年会議所と連携を図り、子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供します。 ・市内小学4年生～6年生を対象 ・定員50～60名 ・3～4日間 令和6年度に子ども大学くき実行委員会を立ち上げ、詳細について協議します。	① 本年度(計)4日の開催において、第1日目(8/27)から第4日目(10/1)まで各日ごとの「参加者数(実数)」、「講師の氏名」は。 ② 全参加者の久喜市内4地区の分布は。 ③ 各日のプログラムの「タイムテーブル」は。 ④ 会場まで市内参加者(児童)の「交通手段」は、…親がクルマで送迎していただけるか。 ⑤ 「応募受付」はどのようにしておこなわれているか。 ⑥ 本事業の「狙い」、「目的」と「予算」は。 ⑦ 本事業につき「アンケート」などによる参加者からの「満足度」、「評価」は。 ⑧ 本事業を次年度以降も継続実施する上での「問題点」、「解決策」は。 ⑨ 実行委員会の構成メンバーは、(計)何名ですか。 ⑩ これまでの12回の本事業「活動報告書」はありますか。	①【8月27日】参加者数:48名、講師名:平成国際大学 稲田彩加氏、【9月10日】参加者数:47名、講師名:平成国際大学 末澤恵美氏 【9月24日】参加者数:48名、講師名:久喜市消防防災課 防災監 宮本康治氏、【10月1日】参加者数:48名、講師名:有限会社草間工業 草間義勝氏 ②久喜地区:24名、栗橋地区:2名、栗橋地区:11名、鷲宮地区:21名 ③【8月27日】 受付 9:30～10:00、入学式 10:00～10:15、写真撮影 10:15～10:30、授業 10:35～12:15、事務連絡 12:15～12:30 【9月10日】 受付 9:30～10:00、朝のホームルーム 10:00～10:05、授業・見学 10:05～12:00、帰りのホームルーム 12:20～12:30 【9月24日】 受付 9:30～10:00、朝のホームルーム 10:00～10:05、講義 10:05～12:00、帰りのホームルーム 12:20～12:30 【10月1日】 受付 9:00～9:30、朝のホームルーム 9:30～9:35、講義 9:35～11:30、修了式 11:35～11:50、帰りのホームルーム 11:50～12:00 ④保護者の送迎 ⑤電子申請のみ ⑥目的:子どもの知的好奇心を刺激する講義や体験活動を通して、学ぶ力や生きる力を育てるための大学 市予算:25,000円、参加費:29,000円(500円×58名)、久喜青年会議所からの助成金:30,000円 ⑦【1日目(回答42名)】 とても楽しかった 34名、楽しかった 6名、あまり楽しなかった 2名 【2日目(回答36名)】 とても勉強になった 28名、勉強になった 7名、あまり勉強にならなかった 1名 【3日目(回答30名)】 とても勉強になった 25名、勉強になった 4名、あまり勉強にならなかった 1名 【4日目(回答26名)】 とても勉強になった 16名、勉強になった 8名、あまり勉強にならなかった 1名、勉強にならなかった 1名 ⑧課題:講義内容の充実 →4, 5, 6年生連続で参加する学生も多いため、飽きないような工夫が必要 解決策:生涯学習課のイベント開催の実績をいかして、講師を選定していく ⑨令和5年度は15名 ⑩H24.26.27.28.30.R1～R5の10回はあり

【質問に対する回答】令和6年度生涯学習関係事業計画書(令和6年1月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標	1 学ぶ～様々な学びの提供～						
施策	1 ライフステージに応じた学びの充実						
具体的施策	事業名	内容	関係課等	令和5年度の成果(令和6年1月31日現在)	令和6年度実施計画	質問事項	回答
成人期における学びの充実	24 市民大学(まなびすとカレッジ)・大学院 (30年目)	市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、地域コミュニティづくりやまちづくりの担い手及び指導者・リーダーとなる人材の育成を図ります。	生涯学習課	令和5年度は4月15日(土)に入学式・始業式を実施しました。令和6年1月31日現在、学生数は1年生11名、2年生10名、大学院生5名となります。 1年生30講座、2年生20講座の他、講座以外の特別活動は、予定どおりの進捗状況です。学生の講座への出席率は1年生90.2%、2年生86.3%と高い傾向にあり、意欲を感じることができました。 また、令和5年度の卒業生数・終了者数は次のとおりです。 ・1学年:11人 ・2学年:10人 ・大学院生:5人	令和6年度は各学年1講座増やし、更なる学習機会の場を提供する予定です。	長年実施されている中で参加を増やすための課題は何でしょうか。	今後、参加者を増加させることが課題として挙げられます。主に以下のとおり対策が挙げられます。 ・市公式SNSの活用 ・各種イベントでのチラシ配布 ・市内小中学校への周知 ・市内公共施設へのチラシ配架
高齢期における学びの充実	34 高齢者大学(スマイルキャンパス) (46年目)	実生活に即した教養の向上を図り、趣味活動や社会参加による生きがいを充実させるための講座を充実します。	生涯学習課	令和5年度は4月12日(水)に入学式・始業式を実施しました。令和6年1月31日現在、学生数は1年生45名、2年生39名、3年生28名、4年生43名となります。 講座や学校行事は予定どおりの進捗状況です。学生の講座への出席率は、1年生83.3%、2年生83.6%、3年生83.9%、4年生83.9%と高い傾向にあり、意欲を感じることができました。 また、多くの学生が生涯学習施設「まなびすポット」を使用しております。	令和6年度は各学年1講座増やし、更なる学習機会の場を提供する予定です。	長年実施されている中で参加を増やすための課題は何でしょうか。	今後、参加者を増加させることが課題として挙げられます。主に以下のとおり対策が挙げられます。 ・市公式SNSの活用 ・各種イベントでのチラシ配布 ・市内小中学校への周知 ・市内公共施設へのチラシ配架

【質問に対する回答】令和6年度生涯学習関係事業計画書(令和6年1月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

- 基本目標 1 学ぶ～様々な学びの提供～
 施策 2 共生社会の学びの支援

具体的施策	事業名	内容	関係課等	令和5年度の成果(令和6年1月31日現在)	令和6年度実施計画	質問事項	回答
	44 障がい者パソコン講座 (21年目)	視覚障がい者・上肢機能障がい者を対象とした、パソコンを使ったの基本的な技能を習得します。	障がい者福祉課	広報くき9月号にて受講者募集を行いました が、受講希望者がいなかったことから実施を見送りました。	10月から11月にかけて講座を実施する予定です。	広報紙で募集がなく中止とあります。P12 連番69「パソコン講習会」では、スマホ講座へシフトしたと柔軟な対応が書かれています。障がい者だからこそ、必要なスキルと思えるので、障がい者福祉課でも障がい者団体などにニーズや実施方法のヒアリングをしていると思います。10月から11月に実施だけではなく、R6年度の工夫点なども追記または、ご説明をいただけますか。	令和6年度もパソコン教室を引き続き行って行く予定です。今後はパソコン教室とは別に、障がい者向けのスマホ教室の開催も検討しています。
障がい者の学びの推進	47 ふれあいスポレク・フェスタ (15年目)	障がい者の方々のスポーツ・レクリエーション活動の普及を図り、参加者の交流を深めるために、ポッチャ等のイベントを実施します。	スポーツ振興課	日時: 令和5年9月16日(土) 会場: 毎日興業アリーナ 久喜 サブアリーナ 参加者数: 13名 概要: 障がい者の方も楽しめるポッチャをはじめとする様々なスポーツ・レクリエーション種目を用意し、体験機会を作りました。	開催時期は未定ですが、障がい者の方がより参加・体験しやすい種目及び会場等をスポーツ推進委員協議会において検討します。	R4に比べR5は参加人数がより減少しています。R6年度からの「第3次久喜市障がい者計画」では、スポーツ・レクリエーションの振興として、①～③のような事業内容になっています。 ①パラスポーツの促進 →誰でも参加できるスポーツイベントの開催、 ②パラスポーツの支援 →活動場所の提供、広報誌の掲載、パラスポーツ団体や指導者、ボランティアの育成・支援、 ③競技スポーツ団体の育成・支援 →久喜市スポーツ協会加盟団体などに取り組み実態の把握、 →パラスポーツ団体や指導者、ボランティアの育成と、多岐にわたり関係団体などに理解を求め、協力をお願いしていく必要のある案件です。しかし、R6年度の実施計画に、久喜市ではなく、スポーツ推進委員の団体「スポーツ推進委員協議会」において協議すると記載されているのみです。スポーツ振興課においては、①～③の理念や主旨を盛り込んだ内容も当然検討いただいていると思いますので、その点を追記または、ご説明をいただけますか。	令和6年度における障がい者スポーツの推進施策といたしましては、ふれあいスポレク・フェスタをはじめ、以下の取り組みを予定しています。 ・ポッチャ協会等のパラスポーツ団体の活動支援 ・スポーツ体験会におけるユニバーサルスポーツ体験(モルック) ・パラスポーツの大会誘致調整 ・パラスポーツの指導者育成支援 このような取り組みを通じ、障がい者の方々のスポーツ・レクリエーション活動の普及を図ってまいります。

【質問に対する回答】令和6年度生涯学習関係事業計画書(令和6年1月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

- 基本目標 1 学ぶ～様々な学びの提供～
 施策 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実

具体的施策	事業名	内容	関係課等	令和5年度の成果(令和6年1月31日現在)	令和6年度実施計画	質問事項	回答
デジタル社会に対応した学びの推進	69 パソコン講習会 (年数不明)	パソコンを使って基本的な技能の習得を目指す講習会を開催します。	生涯学習課	過去にパソコン講習会を実施していましたが、参加人数や要望が少なく、また、スマホ講座への要望が多かったため、スマホ講座へシフトをしています。	令和6年度も引き続き、スマホ講座を実施していく予定です。	①本年度、この事業は参加者が少なく、要望もない、とのことですが「講習プログラム」を工夫して基礎から応用まで幅広く扱えば、受講者は出てくると思います。 ②ボランティアで「パソコン相談」、「パソコン講座」を主催しているグループに予算提供してはいかがでしょうか。	①スマホの普及により、パソコン教室よりもスマホ教室の要望が圧倒的に多いため、令和元年度以降は公民館事業として実施しておりません。 ②ボランティアグループの実績が不明であり、公民館事業としてのパソコン教室自体の要望が無いため、現時点で予算提供は考えておりません。
	70 スマホ講座 (年数不明)	スマートフォンを使ってみたい、または使うことに不安がある方を対象に講座を開催します。	生涯学習課	令和6年1月31日現在、スマホ講座につきましては、初級講座を5地区で実施し、106人が参加しました。(久喜中央地区14人、清久地区8人、菖蒲地区5人、栗橋地区6人、鷲宮地区73人) また、中級講座につきましては、清久地区で実施し、5人が参加しました。 なお、今年度中に初級講座を久喜東地区と青葉地区で、中級講座を久喜中央地区で実施予定です。	市民からの要望の多い講座のため、引き続きコミュニティセンター(旧公民館)ごとに実施する予定ですが、日時については未定です。今後公民館事業運営委員との協議(運営委員会)で決定します。	「開催回数」を増加させては。	スマホ教室については、電話機能に加えてネット検索・写真や動画などの楽しみ、SNSを使用しているコミュニケーションを取る手段として操作方法を学びたいという要望が多いため、令和2年度以降実施しております。今後も開催回数を増やしていきたいと考えております。

【質問に対する回答】令和6年度生涯学習関係事業計画書(令和6年1月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～
 施策 2 発表機会の充実や学習意欲の向上

具体的施策	事業名	内容	関係課等	令和5年度の成果(令和6年1月31日現在)	令和6年度実施計画	質問事項	回答
学習成果の発表と共有	生涯学習推進大会 (まなびすと久喜) (13回目)	生涯学習をしている方の学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場として開催します。	生涯学習課	令和6年3月3日(日)に開催予定です。各団体に日頃の学習活動の成果を発表する場を提供し、発表や活動の展示等を通して、市民に広く生涯学習の楽しさや素晴らしさを体験していただく大会となるようにします。	令和6年度は令和7年2月に実施予定です。	【連番18質問②同様】 R6年度からの「第3次久喜市障がい者計画」では、生涯学習の振興として、「まなびすと久喜」を利用したインクルーシブ教育の推進のため、特別支援学校と放課後子ども教室との共同発表を促進し、インクルーシブ教育の推進およびサポーターなどの育成を図るとしています。生涯学習課においては、その理念や主旨を盛り込んだ内容も当然検討いただいていると思いますので、その点を追記または、ご説明をいただけますか。	特別支援学校のまなびすと久喜への参加を促し、放課後子ども教室との交流を図りインクルーシブ教育の推進に努めます。 また、現在、市内21校の放課後子ども教室のうち、15校で「ポッチャ」を行っています。「ポッチャ」を活用し特別支援学校と放課後子ども教室の交流が企画できないか、放課後子ども教室実施委員の方々に図り、理念(全ての子どもたちが一緒に学べることを目指す教育)を共有する一助とします。